

令和7年度 景観形成審議会

やまがたの誇れる景観魅力発信事業について
『やまがた景観物語』おすすめビューポイント
令和7年度

令和8年2月9日

県土利用政策課景観・地域づくり担当

1

1 「やまがた景観物語」おすすめビューポイントとは

開始前の課題

① 山形県内には、
観光資源となり得る
優れた景観が多く存在

あまり知られていない

どこにあるのかわからない

② 県内高速道路の供用
→ 自動車利用の
観光客増加の期待

観光地までの
高速道路の往復利用では
波及効果が限定的

課題解決に向けた対応

- ▽ 県内各地の車で立ち寄りが容易な美しい景観の掘起こし
- ▽ 景観の美しさに加えて景観の特徴や歴史・物語を付加情報として提供

→ 「おすすめビューポイント」を選定・活用

ビューポイントに気軽に立ち寄ってもらうことで、
県内の周遊を促し、地域の活性化や交流人口の拡大につなげていく 2

2 ビューポイントの選定

選定に当たっての評価の視点

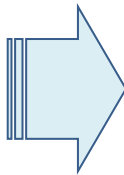
《 景観の条件 》

- ▽ 山形の独自性を持つ優れた景観か
- ▽ 景観に人々を魅了する魅力的な物語があるか
- ▽ 周辺観光スポットの充実度

《 場所の条件 》

- ▽ 車で容易に行けるか、駐車場があるか
- ▽ 展望施設等が整備されているか、周辺が維持管理されているか

H27年度 33か所を選定
H28年度 20か所を選定
R01年度 7か所を選定
R04年度 40か所を選定



やまがた景観物語
Yamagata Keikan Monogatari
おすすめビューポイント 100

県内の全市町村にビューポイントを網羅

R4年度は一般募も行い、応募総数116件（86箇所）の中から40か所を選定、合計100箇所となった。 ³

3 ビューポイントへの支援

ハード（的な）整備

◆道路案内標識の整備

- ▽ デザインを統一し、ピクトグラム（絵文字）の活用、英語表記の改善により、外国人来訪者へも配慮



◆外国語版デジタルガイドブック

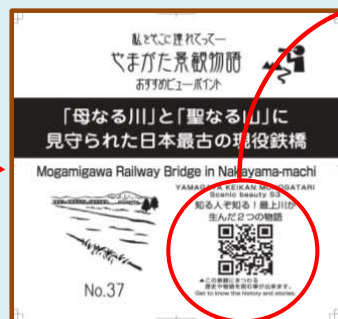
リーフレットの整備

- ▽ 道の駅、高速道路SA・PA 行政機関等に配布、設置
- ▽ 県外山形県事務所、県人会で配布。
- ▽ 県内の観光案内所等へ設置
- ▽ 県内で行われる他部局のイベント等に提供、配布。
- ▽ クルーズ船寄港時に配布。



◆現地標識の整備

QRコード※を読み込むことによって
景観やビューポイントの歴史や
物語に触れる



※QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です。



3 ビューポイントへの支援

ソフト的な対応

◆SNSの活用

▽ Facebook・Instagramを活用し、ユーザーのつながりを介した認知度の向上



◆マスメディアによる情報発信

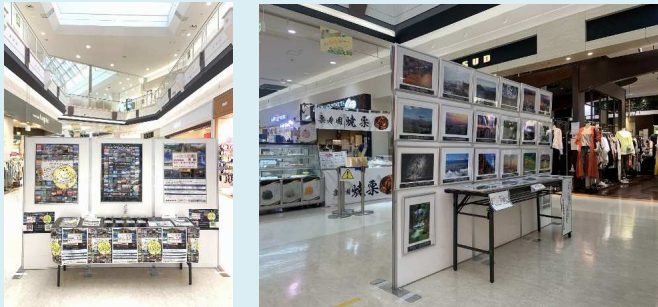


▽ R7.11 「やまがたサンデー-5」

各種放送番組より動画の提供依頼あり。

◆巡回写真展示

▽ 県庁・市役所ロビー、山形空港、遊学館など R7年度は9か所で開催。



◆イベントの開催

- ▽ 写真コンテスト (H28~R2)
- ▽ スマホスタンプラリー (H30~R3)
- ▽ プロカメラマンとビューポイントを巡るフォトツアー (H29~R1)
- ▽ Instagramフォト・ムービーコンテスト (R3~R6)
- ▽ やまがた景観物語交流イベント (R6)
- ▽ Instagramフォト・ムービーセレクション (R7~)



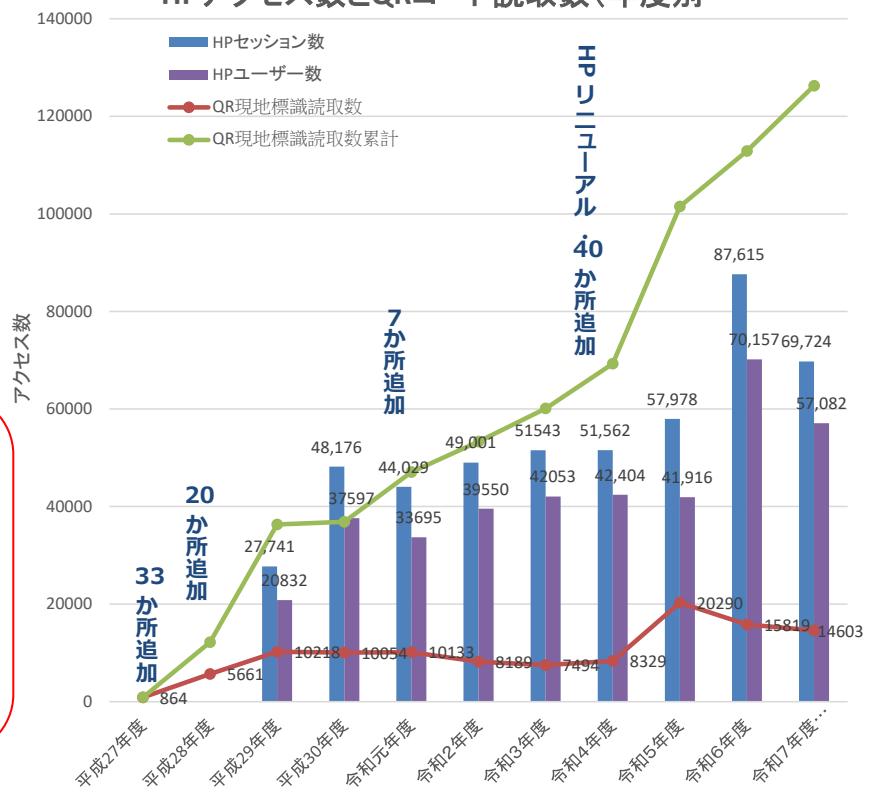
5

4 QRコード読取情報とSNSによる分析

現地標識QRコードの読取数を「来訪者数」として評価



HPアクセス数とQRコード読取数(年度別)



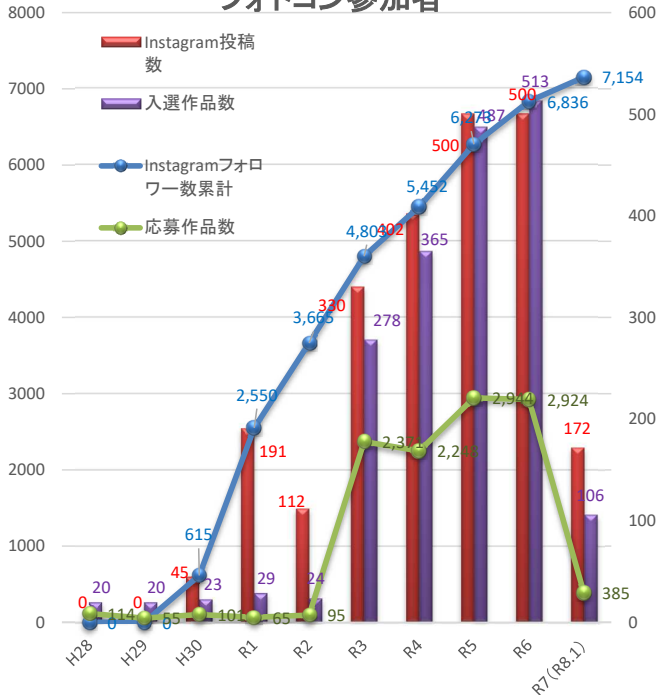
- ▽ 累計 (H27.9~R8.1.26) **111,654**アクセス
- ▽ 令和2~3年度コロナ渦で減少
- ▽ 令和4年度の追加選定。HPの刷新。
- ▽ 令和5年度60~100の標識を整備。
令和6年2月にガイドブック販売。
- ▽ 令和6年5月パンフレットを100に刷新。
- ▽ 令和7年3月外国語版デジタルガイドブック配信開始

R4年度末にHPをリニューアルし、40か所を追加選定を公表。R5年度より現地標識を整備し、読取数が大幅に増加。R6年度に現地QR標識の読取件数は減少したものの、「やまがた景観物語」のサイトへのアクセスが増えており、HPの閲覧数やユーザー数が増えたことから、以前より認知度が向上したと考えられる。

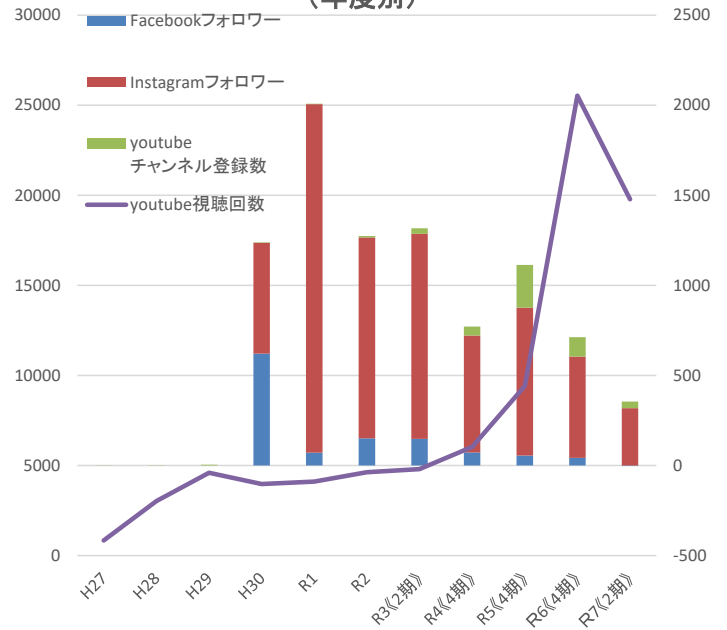
6

4 SNS情報発信による分析

Instagramフォロワー数累計と フォトコン参加者



SNSのフォロワー数及び視聴数 (年度別)



SNSは、H27年度Facebookを開始し、H29年度にInstagramを開始。
H30～R1年度でフォロワーが増加。現在は、Youtubeへと需要の移行が進んでいる。
背景としては、R4年度からドローン動画の発信開始、R6年度から庄司紗千さんによるオリジナルソング付のビュールート動画、交流イベント関連の動画を増やし視聴回数が伸びた。
R7年度はフォトコンの運用について内容を見直し、投稿キャンペーン形式で開催した



5 QRコード読取数 上位のビューポイント

31 県内一の高さを誇る玉簾の滝

神のお告げの
ハリススポット

住 所：山形県酒田市升田
駐車場：産直ららら50台 (大型車駐車場可)

29 米どころ港町さかたの
山居倉庫とケヤキ並木

実は現役の倉庫なんです
空気を創る塔

住 所：山形県酒田市山居町 1-1-20
駐車場：30台 (大型車駐車場可)

26 国宝 羽黒山五重塔と表参道杉並木

霊験あらたかに
空間を創る塔

住 所：山形県鶴岡市羽黒町手向
駐車場：50台 (大型車駐車場可)

47 高倉石の不思議空間 瓜割石庭公園

6,224 **1**

53 湧水の芸術 幻想的な水辺の空間「丸池様」

歴史を感じる
神秘的な池

住 所：山形県遊佐町直世字荒川
駐車場：10台 (大型車駐車場不可) (貸自転車採掘場)

R5.4~R8.1.26
(VPが100か所になってからのランキング)

66、神秘的な空間 峯の浦・垂水遺跡



1,689 **7**

34 日本夜景遺産
西蔵王公園展望広場から一望する山形市街地



2,312 **5**



▽ 有名観光地に限らない
新たな魅力の掘起こし
▽ 上記の人気VPを含めた
周辺VP周遊ルートの提案

6 更なる情報発信① (Instagram)

イベントの魅力向上

【課題】ビューポイントの魅力向上 ・ 幅広い層に向けたきっかけづくり



やまがた 景観物語 Yamagata Keikan Monogatari

抽選で美味しい山形県産特産品詰め合わせギフトが当たる！
フォト・ムービーセレクション

ハッシュタグでかんたん応募♪ Instagram投稿キャンペーン
#わたしとやまがた景観物語2025〇〇

あなたのビューポイントでの
おすすめの過ごし方や、
楽しかった思い出、
印象に残った出来事を
ぜひ教えてください！

応募期間
春夏期：2025.6.1 Sun [景観の日]→2025.9.30 Tue
秋冬期：2025.10.4 Sat [都市景観の日]→2026.2.20 Fri

Instagramフォト・ムービーセレクション

R3年度から行ってきたフォトコンの内容を見直して開催

見直しの背景：

- ・市内での同様のフォトコンが乱立しており、投稿が他の課へのフォトコンに分散している。
→ 違う形での開催を検討し、風景の美しさだけでなく、保全や観光、アウトドア等の人の営み・体験が感じられるような情報発信を目指す。
- ・職員の人員不足
→ 4期から2期へ、リポスト数も削減
- ・毎回同じフォロワーによる投稿、応募者同志のトラブル（フォロワーが多い方はいいね数が多くつき有利。）
→ きれいな写真を撮るスキルがなくても、抽選により景品がもらえる確率が上がる「キャンペーン」開催。
- ・情報発信のマンネリ化
→ おすすめビューポイントでの過ごし方や思い出等のエピソードを添えて投稿することで、行ってみたいという興味を引き出したい。

運用開始後の課題：

- ・全体的な投稿件数が減少。
- ・人の活動の写真は、写っている方の同意を得る必要があるため、投稿のハードルが高く、あまり集まらない。

特にSNSが身近な若年層の訪問者増を図る

市町村nexco東日本、観光施設等と広報連携し、フライヤーを窓口に設置を依頼して周知。

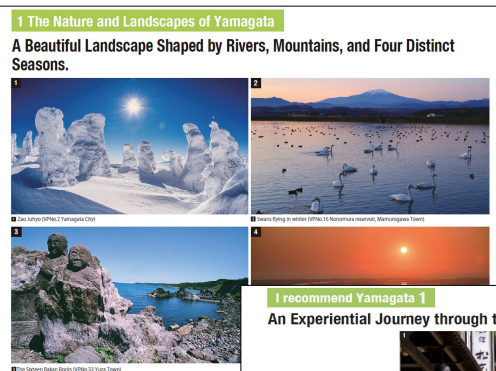
6 情報発信② (外国語版デジタルガイドブック)

外国人に向けた情報発信強化

【課題】インバウンドの需要に対し、山形の景観の案内・VP標識を活用するツールがない

目的と狙い

- ・観光客や在住外国人に「山形の景観の魅力」を認知してもらい、訪れるきっかけにつなげる。
- ・インバウンド対応していないVPの案内を支援。外国からの来訪者にその場所の魅力を伝える。
- ・蔵王の樹氷、银山温泉等の一極集中を緩和し、周辺VPへの周遊を促しながら景観の魅力を伝える。
- ・欧米豪の方々を中心に、歴史や文化を知るツールとして活用していただく。



1 The Nature and Landscapes of Yamagata
A Beautiful Landscape Shaped by Rivers, Mountains, and Four Distinct Seasons.

1. Winter Snow (1/19/2024) Yamagata City
2. Autumn (10/19/2023) Niigata Prefecture, Muroga
3. Spring (4/19/2024) Niigata Prefecture, Niigata City
4. Summer (7/19/2023) Niigata Prefecture, Niigata City

I recommend Yamagata 1
An Experiential Journey through the Landscapes of Yamagata

・山形の景観の特徴や文化、生業の歴史を解説。

右：インバウンドの旅行者に特におすすめする山形の魅力を、山形県在住の外国人達が紹介。

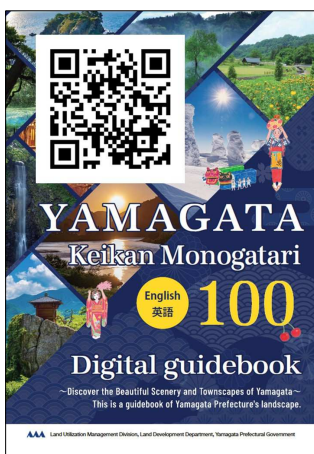


Green meads
Way off in the
ominous clo
adventure of
coach echoes
The realm of
Yamabushi is
destination?
base of Mt. Haguro, Toge is Japan's one and only Sangaku Shinko Mountain
Worship village home to the Shinawake pilgrim's lodges and a centuries-old
culture of group pilgrimages still maintained in the same way it has been since
the mid 17th-century.
Let the Yamabushi guide you on an experience unlike any other.

Tokai University of Community Service and Science, Maguroku Inc.
Creator, Specialty Ined Assistant Professor, Project Manager

Tim Bunting
Yamabushi name: Rosen
Born in New Zealand, Tim came to Japan in 2010 on the IET Program and began work as an Assistant Language Teacher in Shirai Town, Yamagata
Prefecture. After returning to NZ in 2012, he worked as a member of The Yamabushi Team. He also worked as a member of the Yamabushi Team in 2016, and was officially certified as a
Yamabushi (Shinawake Shrine) in 2017. As a member of The Yamabushi Team, Tim also worked as the mascot of Yamagata for several years in the
ways of the ancient Dazhinbo-dai.
Tim also has a weekly newsletter and YouTube channel called 'Tim Yamabushi' where he introduces the charms of Yamagata to the world. [tim@yamabushi-
introducing.com](mailto:tim@yamabushi-
introducing.com) <https://www.youtube.com/channel/UC1mBunting>

左：山伏体験等一步踏み込んで山形も文化・観光したい方が、直接問い合わせできるHPを掲載し、連絡を取り合うことができる。



YAMAGATA Keikan Monogatari
English 英語 100
Digital guidebook
~Discover the Beautiful Scenery and Townscapes of Yamagata~
This is a guidebook of Yamagata Prefecture's landscape.



山形 景観物語
中文 繁體字 100
數位導覽手冊
如人心曠神怡山形自然美景街道風情
介紹山形縣風景的導覽手冊

7 動画コンテンツ



各地域毎に美しい絶景の4K動画、ビュールート、交流イベント動画を発信。

- ・自治体のイベント開催時に放映
- ・自治体の観光部局のホームページ等に当課の公式youtubeチャンネルの動画を貼付
- ・役場ロビーやデジタルサイネージ等で放映



4K空撮動画×14本



交流イベント開催状況×4地域



ビュールート (庄司紗千さんによるオリジナルソング) ×4本

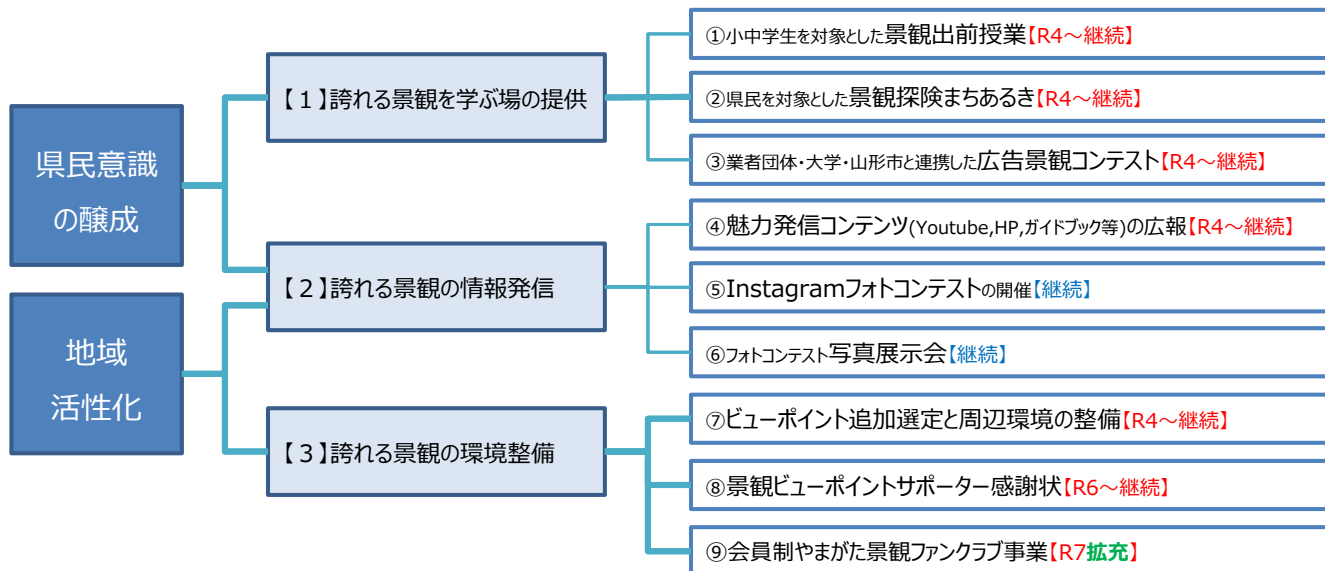


交流イベントプロモーションムービー (地域別4K空撮動画) ×4本
全ビューポイントの動画

8、やまがたの誇れる景観魅力発信事業

目的	現状	課題
① 将来に渡り景観を整備・保全する県民意識の醸成	・Instagramフォトコン等によりVP来訪者が増加。 ・VPを通じて県民、市町村の景観への関心の高まり。	・SNSを利用しない世代等への発信が不足。 ・誇れる景観を十分に掘り起こせていない。
② 地域の個性や多様な交流の促進による地域活性化	・市町村における景観地域づくりの取組みの停滞。 ・地域で景観保全に取り組む団体等が多数存在する。	・市町村職員は人手不足で余裕がない。 ・高齢化により、景観保全の継続が困難。

対応方針；上記を踏まえ、以下の3つの柱を軸に、R4～6年度取組みを強化し、R7年度も継続。景観保全の担い手不足を解消する支援を強化。



事業計画

R4～R6年までの3年間、地方創生推進交付金を活用して重点的に取り組み、R7年度からは企業版ふるさと納税や使途明示型ふるさと納税で財源を確保しながら事業を継続。

【1】誇れる景観を学ぶ場の提供

(1) 景観出前授業【R4～】

市町村と連携し、小・中学生を対象とした景観の出前授業を実施



(2) 景観探険まちあるき【R4～】

地域住民がまちあるきを通じて地域の魅力ある景観を再認識



(3) 広告景観コンテスト【R4～】

県・山形市・屋外広告業団体・東北芸工大で優れた屋外広告物と屋外広告デザインのコンテストを共催



【2】誇れる景観の情報発信

(1) Instagramフォトコン・写真展【継続】



(2) 景観魅力発信コンテンツ【新規・拡充】

追加指定したVPや眺望景観資産などを盛り込んだWebコンテンツ（HP、YouTube）【R4～】や景観ガイドブック「やまがた景観物語100」【R5】を出版



YTSとのコラボ企画「やまがた百景 × 景観物語」TV放送+YouTube



【3】誇れる景観の環境整備

(1) 景観VPの指定・周辺環境整備【拡充・R4～】

一般公募、市町村推薦等によりVPを追加指定し案内看板の設置など周辺環境を整備



(2) 景観ビューポイントサポーター感謝状【R6～】

地域の景観を保全する取組みをしている団体や個人に対して感謝状を交付し、他地域の取組みを促す



景観保全に関する県民意識の醸成



景観を活かした地域活性化



活力ある地域社会の実現

R4年度からの継続事業 景観出前授業

県内の美しい景観を保全していくには地域の担い手が必要です。

景観出前授業の開催

県では、小学生を対象に出前授業で「景観まちづくり」を学ぶ機会を作り美しいまちづくりへの意識を持ち、郷土の良好な景観を守り育てる行動ができる人づくりを目指します。

- ▽ 教育委員会等への周知
- ▽ 打合せ・市町村での景観を保全する活動や団体の情報提供
- ▽ 当日の同行・現地の説明等
- ▽ 他の学校で市町村が主体となり開催

R7年度開催 合計201名

- 山形市立東沢小5・6年生 64名
(6月30日 座学1h+馬見ヶ崎川河川敷・唐松観音の見学3h)
- 寒河江市立柴橋小4年生 34名
(7月1日 座学1h+最上川ふるさと公園・熊野神社の見学3h)
- 寒河江市立松山小6年生 7名
(7月15日 座学1h+松山城跡まちあるき+眺海の森3h)
- 南陽市立赤湯小3年生 96名
(7月24日 座学1h)

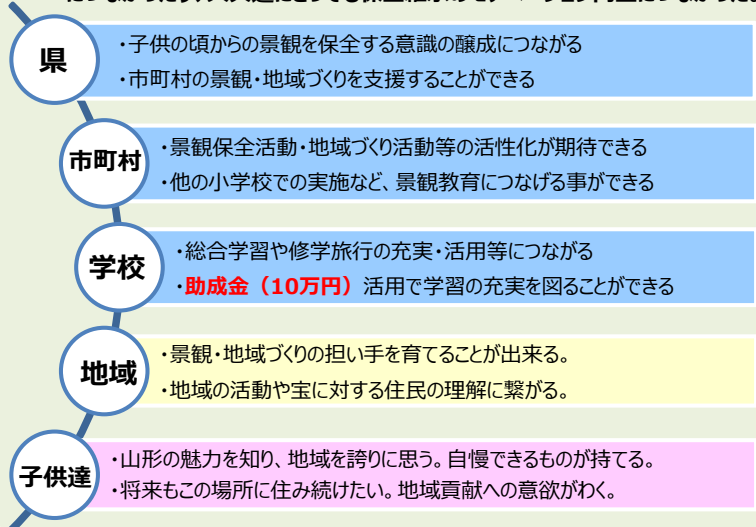
参加した児童はR4年度104名、R5年度111名、R6年度121名と、**R7年度201名**と増加しています。地域を理解する総合学習の場で活用していただいています。

先生達の出前授業後の総合学習の展開をヒアリングし、それぞれの学校に合った授業の構成で開催。座学後、スクールバスで学校周辺の景観を巡り、その場所の保全や地域活性化に取り組む方の話を伺う。



●山形市立東沢小(馬見ヶ崎の河川敷で山形市から芋煮会のイベントの話を聞き、唐松観音を見学。)

【成果】生徒達が景観ビューポイントまでの道のゴミ拾いボランティアに参加する行動につながったり、大人達にとっても保全継承のモチベーション向上につながった。



R4年度からの継続事業 景観探険まちあるき

県内の美しい景観を保全していくには地域の担い手が必要です。景観探険まちあるきは地域住民が「まちあるき」を通じて地域の魅力を再発見するものです。地域の歴史や景観を知り、人々の営みやまちなみを探険し、地域で景観を守り育てる行動につなげることを目指します。

新庄城下の歴史探険～駅前のディープスポットを巡る！～

今年新庄開府400年を迎えた新庄市で、景観計画の策定を目指すと共に、まちあるきを通して市民に街中の景観資源を再確認していただき、意見を計画へ反映していきたいとの希望があり開催。新庄駅西のエリアで、城下町の旧町名や市民にとってのディープスポットを巡り、名残を辿りながら歴史を確認した。令和7年11月1日(土)29名参加。次年度市での開催を目指す。



効果 景観探険まちあるきを行うことで、地域の魅力を再発見するきっかけづくりになる。また、市町村が自ら自発的に景観まちづくりを進めていく機運を高める事が出来る。

県民の景観意識の醸成や、住民が景観をはじめとしたまちづくり活動等の地域活性化が期待できる。

【共催後、次年度より市単独で開催し、地域住民に普及】

わくわく！米沢景観探険まちあるき～城下町の水路を巡ろう！～

米沢市では、将来を担う米沢の子供達が自分達の町を知る機会を創ることで、郷土愛を育み、子供と共に親も一緒に学び、景観を考え自ら良くする行動を起こすきっかけづくりとなるような意識醸成を図ろうと開催。



ドキドキ！上山景観探険まちあるき～お城周辺の坂と歴史的建造物を巡ろう！～

上山市では、幅広い年代の市民に向けて景観に対する意識醸成を図ろうと開催。市ではまちあるきを開催するノウハウを得ようと開催。上山市では令和6年度から城下町編、温泉町編、宿場町編の3ルートで年3回開催。上山市の銘菓をいただきながら展開するまちあるきにリピーターも続出。実際に標柱の更新等まちなみの景観整備にもつながった。



ふむふむ！鶴岡曲がり角ごとのおどろき探険まちあるき～城下町の小路と歴史的建造物等を巡ろう～

歴史的風致維持向上計画を改定した鶴岡市で、市民に対する意識醸成のため景観をテーマにしたまちあるき事業を始めたいとの希望があり、ノウハウなどを共有するため令和6年10月27日(土)に県と共催。今年度は10月25日(土)に開催され、各スポットごとに所有者等から案内していただくなど充実したまちあるきが展開された。



R4年度からの継続事業 広告景観コンテスト

まちなみや景観と調和した屋外広告物によるまちづくり

【コンテストの内容】

まちなみや景観に与える影響が大きい看板などの屋外広告物について、多くの方に考えていただくきっかけをつくる為、令和4年度から開催し、地域の良好な景観づくりに貢献している屋外広告物と広告デザイン案を募集し、表彰します。

【表彰式】

令和7年11月17日に山形商工会議所で開催しました。所有者をはじめ、デザイン・設計者、施工者を含めた多くの方々が出席し、屋外広告物実作部門・広告景観デザイン提案部門から、それぞれ4点を表彰しました。

第4回
やまがた広告景観コンテスト

募集

なんかい。って言われたい
「わたしが紡ぐ」
やまがたの景観

山形の景観を魅力的にする
屋外広告物デザイン募集

コンテスト期間
令和7年6月16日(月)～9月8日(月)

A 屋外広告物実作部門
B 広告景観デザイン提案部門

主催：やまがた広告景観コンテスト実行委員会
構成員：山形県、山形市、東北芸術工科大学
山形県屋外広告美術協同組合

屋外広告物実作部門（山形県知事賞）



広告景観デザイン提案部門（山形県知事賞）



実作部門：県知事賞「贈呈」の様子



各部門の受賞者と関係者で記念撮影



デザイン提案部門：県知事賞「挨拶」の様子



R6年度からの継続事業 景観ビューポイントサポーター感謝状贈呈

将来にわたって美しい景観が継続されるには景観保全活動が不可欠である

景観ビューポイントの環境保全を行う地区住民やボランティアグループに感謝状を交付してPRすることで、美しい景観を維持する人々の存在の大切さを自他ともに周知・認識してもらい、保全活動への気運高め、賛同する人々をつなげ、将来にわたって地域に愛され受け継がれる景観ビューポイントに育てる。

【贈呈式】

今年度は、令和7年7月11日(水) 洗心庵（山形市）において、贈呈式を行い、各団体の活動を紹介いただきました。

【取り組み紹介】

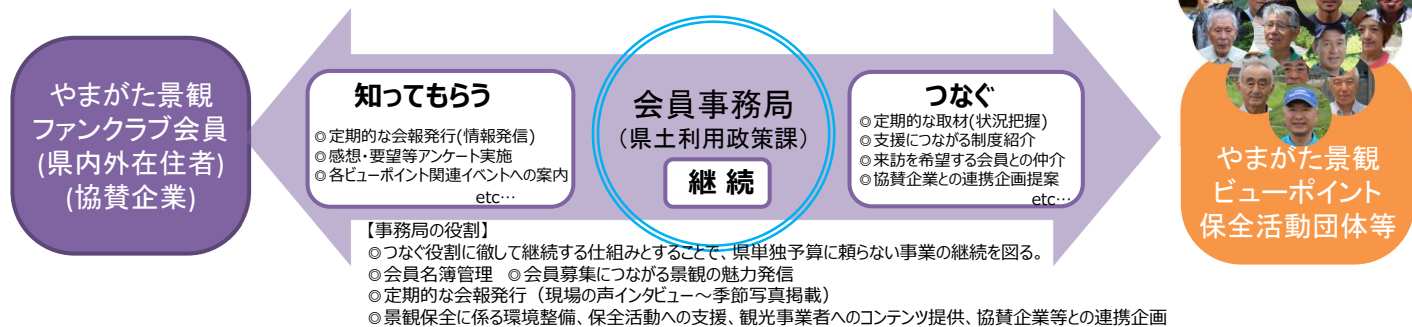
受賞団体の代表者より保全や地域活性化の取り組みを紹介いただきました。地域住民の他にも、地域に根差した企業とも組んで取り組みを広げており、地域の保全を通じた協力によりコミュニティ形成に寄与していることが分かりました。



R7年度新規事業 やまがた景観ファンクラブ

山形県の景観の魅力を知り事業を応援してくれる企業や人々に対し、「企業版ふるさと納税」[使途明示型ふるさと納税特定プロジェクト]制度の枠組みで寄附を募り、寄附者をファンクラブ会員として景観保全に取り組む方々をつなぎ、会員と地域の方々がお互い顔が見えるつながりを生み出すことで持続的な関係構築を図ります。

寄附を事業に充てることで、県単独予算に頼らず、景観が保全され魅力が拡散される取組みを継続していき、将来にわたって地域内外から愛され受け継がれていくことを目指します。



地域に貢献したい企業様に！

- 企業のPR**
社会貢献による企業のイメージアップ
- 自治体とのパートナーシップの構築**
- 環境保全・脱炭素 SDGsやESGに寄与**

働きがいも経済成長も 8
住み続けられるまちづくりを 11
海の豊かさを守ろう 14
陸の豊かさを守ろう 15

寄附いただいた会員様に！

使途明示型ふるさと納税は返礼品は送ることが出来ません。代わりに「やまがた景観ファンクラブ」の会員として、山形県の景観を保全する地域の方々の取り組みを取材した情報等を会員様限定の会報（御芳名記載）と動画でお届けします！

やまがた景観物語 Fan Club Letter

R7年度新規事業 やまがた景観ファンクラブ

事業の流れ

関係人口の輪を広げる
好循環を形成することで
美しい景観を将来に引き継ぐ



- 関係人口の増加により生まれるつながりの中から、新たな支援者（個人及び企業）を呼び込む。

- 保全活動やイベントを通して、地域の方々をつなぐことで、関係人口の創出につなげる。



景観の保全に携わっている方々



- ふるさと納税制度の「やまがたの景観を応援！景観ファンクラブ事業」として寄附をいただいた方々をファンクラブ会員とみなし、事務局として名簿を管理。



- ファンクラブ会員に向けて会報を発行。
- 会報は、景観の四季毎の見所や催し情報、会員限定の情報を掲載して誘客を促す他、保全活動の状況や活動への参加募集告知など、地域の状況取材して現場の声を届ける。
- 取材を通じて、保全活動に光を当てることで、地域の方々にとってのモチベーション維持につなげる。



(R6・7: 伊藤園「お茶で山形を美しく」保全活動を実施)

- 地元住民が行ってきた美化活動などの地域活動に、一般の方々に参加できる活動を企画し、これまで景観を「見に来る」方々が、景観保全やイベントに「参加する」機会を作る。
- 企業版ふるさと納税として協賛いただいている企業との連携企画立案など、地元の支援に繋がる調整や橋渡しを行う。



【保全活動の状況】